

欲望の女

デ
イ
ー
プ
ス
ロ
ー
ト

HAZUKI YOHKO

葉月暘子





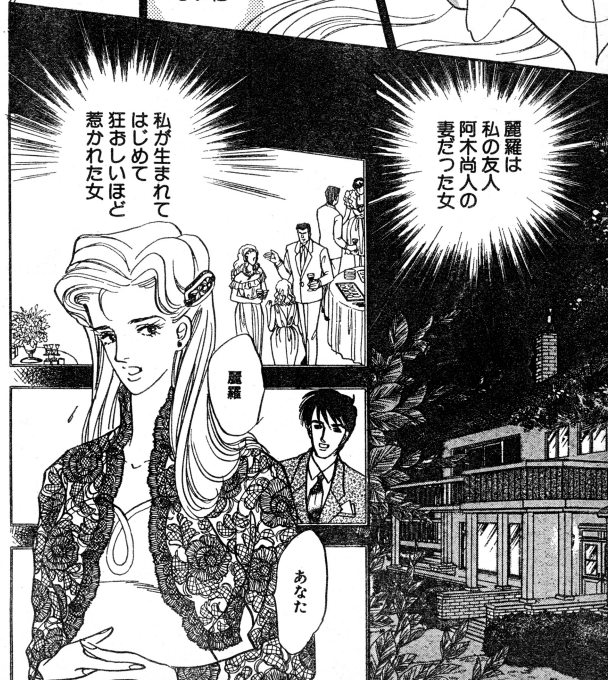
あ……

ごめんなさい
……おじさ……ま

そうだ
この娘は
似ていても
麗羅ではない

時の流れに
それを思い
しらされる

私の心が
満たされる
ことなどないのだ



麗羅は
私の友人
阿木尚人の
妻だった女

私が生まれて
はじめて
狂おしいほど
惹かれた女

麗羅

あなた



あなた……

わたしたち
なんだか
場違いの所に
招待された
みたいね

各界の名士や
皇族関係の
方までいらっしやる
なんて……

ああ

きみ達は
このパーティの
主催者の
友人なんだ
もつと堂々と
していたまえ

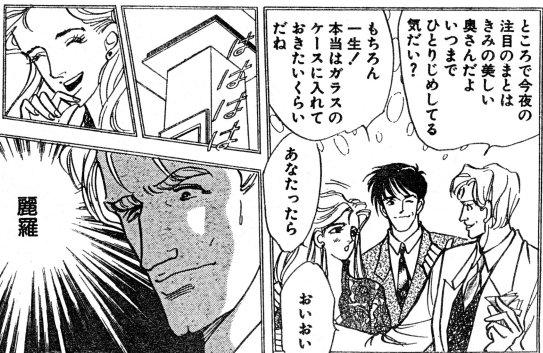
三杉



「あいや

もう
若尾……だな
つい……

若尾コンツェルンの
婿養子になった
ばかりだからな
私も……



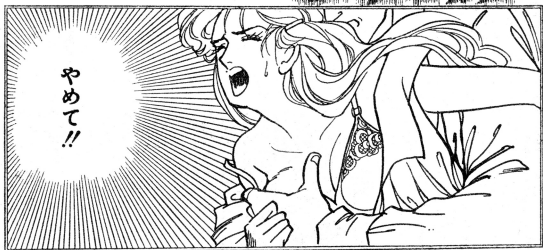
ところで今夜の
注目のまとは
きみの美しい
奥さんだよ
いつまで
ひとりじめしてる
気だい？

もちろん
一生！
本当はガラスの
ケースに入れて
おきたいくらい
だね

あなたったら

おいおい

麗羅



あ……
私たち夫婦を
一週間もお屋敷に
招待してくれたのは
……

このため
だったの？

私は自分が
欲しいと思つた
ものは必ず
手に入れてきた

今の
地位も
金も……



きみの
微笑は
美し過ぎる

ひとめ
見た時から
私は……

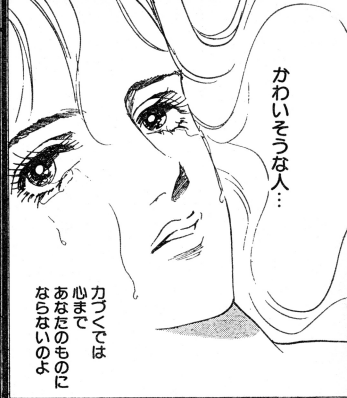
愛してる……
こんな気持ちは
生まれて初めて
なんだ

麗羅

一度でいい

私にだけ
微笑んで
おくれ!!





かわいいそうな人…

かづくでは
心まで
あなたのものに
ならないのよ

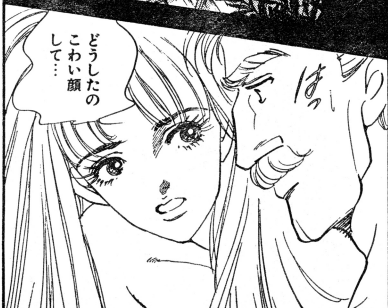


おじさま

おじさま

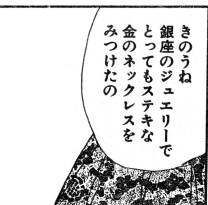
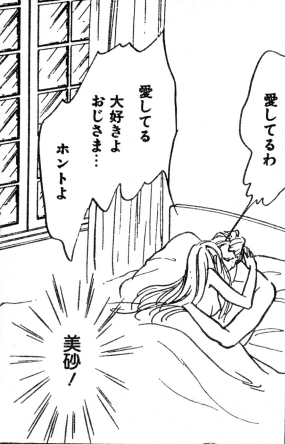


かわいいそうな
人…



どうしたの
かわいい顔
して…

ほっ

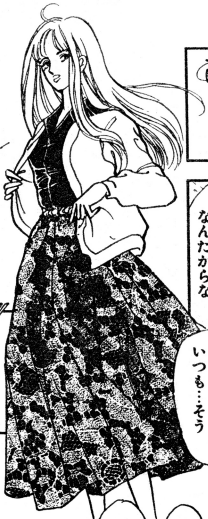
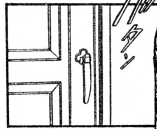




いいとも
それくらい
いくらでも
買ってやる
しかし男の
目をひくような
ハデなのは
いかなぞ
まだ17才
なんだからな

もう
おじさまってば
いつも…そう

そんなに
センス悪く
ないわよ
失礼しちゃう
ふふふ



17才か……



はやいもんだ
あれから三年
たつ……

阿木美砂？

ああ父さんの
友人の娘なんだ

今日から
家で暮らす
ことになった

おまえより
ひとつ年下の
14才だ
仲良くして
やってくれ

達彦



ひん

そーかあ
君のお父さん
癌で…

お母さんは？

あたしを
産んですぐ
死んだの



あたしを
快く
ひきとって
くださった
おじさまは

父さんの
次に大切な
人…よ

あの娘…



笑うと
麗羅に
よく似ている



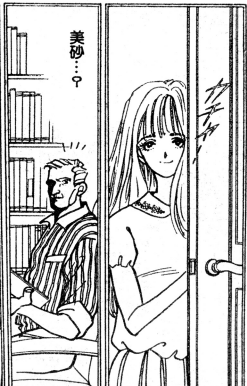
美砂…？

本を
貸してくれ？

美砂には
むずかしすぎるぞ

美砂は
おじさまの本が
読みたいの

今日もここで
読んでいい？



美砂

おじさまが
好き

この
お屋敷の中で
美砂は
おじさまだけが
好き

愛…

してる

麗羅によく似た
その微笑が

私を
惹かせた

愛してる

愛してる

おまえの口から
その言葉を
聞きたいばかりに

私は
おまえを…